

## 題材名 日本歌曲とイタリア歌曲

1、指導内容：学習指導要領 [第2学年及び第3学年 A 表現・歌唱ア・イ・ク] の指導事項から設定する。

2、教材

- ・「花」 武島羽衣作詞 滝廉太郎作曲
- ・「帰れソレントへ」 芙流明子作詞 デ・クルティス作曲 川崎祥悦編曲

3、指導目標と評価規準

	観点1 音楽への関心・意欲態度	観点2 音楽的な感受や表現の工夫	観点3 表現の技能
題材の目標	(1) 歌詞の内容と言葉の抑揚や語感による特性を生かした表現、速度や強弱の働きによる曲想の変化に関心を持ち、意欲的に取り組む。	(2) 歌詞の内容と言葉の抑揚や語感による特性を生かした表現、速度や強弱の働きによる曲想の変化を感じ取り、表現を工夫する。	(3) 歌詞の内容と言葉の抑揚や語感による特性を生かした表現、速度や強弱の働きによる曲想の変化を理解して、歌唱表現をする。
題材の評価規準	歌詞の内容と言葉の抑揚や語感による特性を生かした表現、速度や強弱の働きによる曲想の変化に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	歌詞の内容と言葉の抑揚や語感による特性を生かした表現、速度や強弱の働きによる曲想の変化を感じ取り、表現を工夫している。	歌詞の内容と言葉の抑揚や語感による特性を生かした表現、速度や強弱の働きによる曲想の変化を理解して、歌唱表現をしている。
学習活動における評価規準	歌詞の内容と言葉の抑揚、語感による特性を生かした表現に関心を持っている。  速度や強弱の働きによる曲想の変化に関心を持っている。	歌詞の内容と言葉の抑揚や、語感による特性を生かした表現を感じ取り、歌唱表現を工夫している。  速度や強弱の働きによる曲想の変化を感じ取り、その働きを生かした表現を工夫している。	歌詞の内容と言葉の抑揚、語感による特性を生かした表現の工夫を理解して、歌唱表現をする技能を身に付けている。  速度や強弱の働きによる曲想の変化を理解し、その働きを生かした歌唱表現をする力を身に付けている。

4、指導と評価の計画（4時間）

時間	ねらい・学習活動	題材の評価規準との関連	評価方法等
1	<p>「花」の歌詞の内容を味わい、旋律やリズムの特徴を感じ取って歌う。</p> <p>1 歌詞の内容や情景を味わって、音程やリズムを正確に把握して歌う。</p> <p>2 範唱を聴き、歌詞の内容や旋律、リズムの特徴に合わせた表現について感じたことを発表し合う。</p>	<p>観点1</p> <p>観点2 -</p>	<p>&lt;観察&gt;</p> <p>・発言の内容や挙手による確認</p>
2	<p>「花」の歌詞の内容と言葉の抑揚、語感による特性を生かした表現の工夫をする。</p> <p>1 言葉の抑揚とリズムの特徴のかかわりや、語感を生かした子音の発音、鼻濁音などに着目した表現の工夫を学習シートに記入して発表し合う。</p> <p>2 感じ取った表現の工夫を生かして歌う。</p>	<p>観点2 -</p> <p>観点2 -</p> <p>観点3 -</p>	<p>&lt;観察&gt;</p> <p>・発言の内容や学習シートへの記入の状況</p> <p>&lt;学習シート&gt;</p> <p>・学習シートへの記入</p>
3	<p>「帰れソレントへ」の速さの変化や強弱など、曲の特徴を生かした表現の工夫をする。</p> <p>1 歌詞の内容を味わい、旋律やリズムの特徴を感じ取って歌う</p> <p>2 拍子感や速さの変化、転調などの曲の特徴に気づき、それを生かした表現の工夫を学習シートに記入して、発表し合う。</p> <p>3 曲の雰囲気味わい表現の工夫を生かして歌う。</p> <p>曲の特徴や曲想を味わい、発表曲を選択する。</p>	<p>観点1 -</p> <p>観点2 -</p> <p>観点3 -</p>	<p>&lt;観察&gt;</p> <p>・発言の内容や学習シートへの記入の状況</p> <p>&lt;学習シート&gt;</p> <p>・学習シートへの記入</p>
4	<p>発表曲を曲の特徴や曲想を生かして、表現を工夫して歌うことができる。</p>	<p>観点3 -</p> <p>観点3 -</p>	<p>&lt;歌唱テスト&gt;</p> <p>・演奏</p>